

セグメントの概況

建設機械事業

Construction Equipment

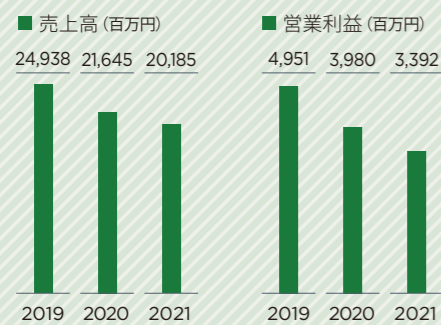
売上高構成比

売上高構成比21.5%
201億8,500万円2021年度売上高
940億2,200万円

業績ハイライト

都市再開発工事の需要などにより建設機械の売上が引き続き高い水準となりましたが、発電機事業からの撤退により、建設機械事業の売上高は201億8,500万円となり、2020年度に比べ6.7%減少となりました。

過去3か年の売上高・営業利益



事業内容 [主要製品]

当社の建設機械事業は1962年に世界初の三点式杭打機を開発して以来、基礎工用機械の歴史に次々と新しい技術とアイデアを導入し、優れた機動性と、低騒音・低振動・省エネルギーなどの環境性能や施工管理システムのIT化などを実現し、つねに業界をリードしてきました。

杭打機は、オフィスビルや商業施設といった建物や、道路や鉄道の高架橋などの大型構造物を支えるための基礎杭を地中に施工する基礎工用機械です。累計で5,000台以上を世に送り出し、特に三点式大型杭打機では、常に100%近いシェアを誇っています。

全回転チューピング装置は、径がφ800～3200の鋼管をチャックで掴んで回転しながら地中へ押し込む装置です。ケーシングの途中を掴み、継ぎ足しながら押し込むため、機械本体の重心は低く、高い安定性を有しています。

小型杭打機は、小回りの利く小型ボディにより、優れた機動性と操作性のもと、効率のよい杭施工を実現します。戸建住宅や中低層建物などの基礎工事において、様々な工法に対応できる高性能な機械です。

アースドリル機は現場に深い穴を掘り、その穴に鉄筋を立て、コンクリートを流し込んで杭を作る工法に用いる機械です。高層ビル、ホテル、マンションの基礎工事の大半に使用されています。

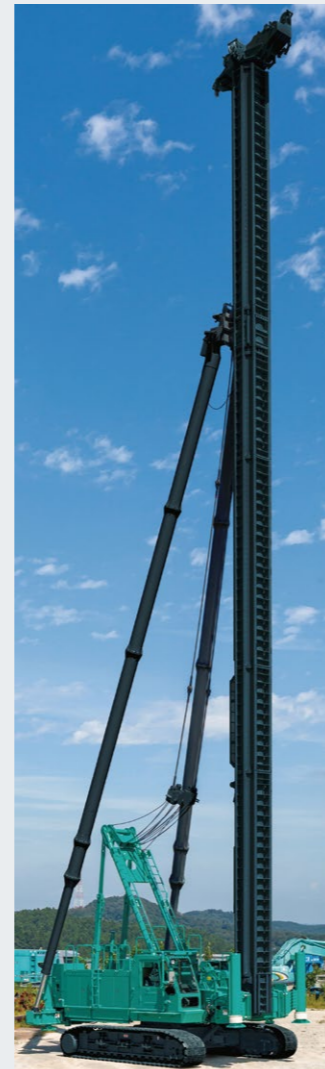
全回転チューピング装置



小型杭打機



三点式大型杭打機



取締役 機電本部長 深谷 道一

新型コロナウイルスの影響により、国内市場の動向は引き続き不透明感があるものの、足元では概ね堅調に受注件数を積み上げております。また、東京、福岡などの大都市における都市再開発や大阪万博などが計画されており、建機市場の展望自体は暗くありません。回復の兆候を逃さず受注を獲得できるよう、体制を整えております。

障害撤去機

近年、大都市圏を中心に再開発が活発になっています。新たな構造物を建設するためには、既存の構造物を取り壊す必要があり、杭基礎を含む地下構造物も例外ではありません。地下構造物を撤去するための障害撤去工事の需要は年々高まっています。都市部での狭隘地施工や隣接建物との近接施工など厳しい施工条件の障害撤去工事にも対応できるよう、コンパクトで分解輸送性に優れた障害撤去機を開発し、販売しています。



海外市場への展開

当社は、日本と比較して大型機種へのニーズが高い韓国市場を海外の重点市場と位置付け、1993年に三点式大型杭打機の販売を開始して以来、大型機の開発・販売活動を積極的に行い、すべての機種でお客様から高い評価を得てまいりました。引き続き、マンションの開発等で需要が活発な韓国において、現地パートナーとの連携を強化しながら拡販に努めるとともに、今後は韓国以外の海外マーケットの市場調査を積極的に進め、拡販につなげたいと考えています。



三点式大型杭打機

スタンダードモデル累計500台出荷

2020年「DH658-135M」シリーズの累計生産出荷台数が500台を迎えました。「DH658-135M」は1994年に初号機を生産、販売を開始してから、26年間かけて500台を達成したことになりました。その間、様々な社会インフラの整備に貢献してきましたが、その中でも「DH658」は今なお杭打機のスタンダードモデルであり、単一機種としては最多の生産台数を誇ります。今後も大型杭打機のトップメーカーとして、最新技術の導入・改良を加えながら、お客様に喜んでいただき、愛される建設機械を生産し続けていきます。



施工管理装置

施工管理装置は、基礎工事の際に、掘削深度や掘削速度、掘削トルクなど施工品質の確認に必要なデータを記録する装置です。直接確認ができない地中施工の状況について記録を行うほか、さまざまな施工支援機能を有し、施工業者様にとって必要不可欠な装置となっています。今後も、ICT施工への対応をはじめ新たな付加価値を創出することで、基礎工事の省力化・効率化に貢献してまいります。

